

2026 年度前期

武蔵野学院大学大学院 武蔵野学院大学 武蔵野短期大学

授業評価アンケートに関する報告書
(要約版)

2026 年 9 月

武蔵野学院大学 武蔵野短期大学

IR 委員会

※本報告書はホームページ上(学外公開用)の要約版です。自由記述欄に関する文言・図表など、個人情報保護および守秘義務の観点から、本報告書では一部の内容を割愛しています。

目次

はじめに	3
2026 年度前期授業評価アンケート 結果概要.....	4
1. 2026 年度後前期 授業評価アンケート実施概要.....	4
2. 回答者の内訳	5
3. 授業評価アンケート 回答率に関する結果	5
4. 項目別評価	5
5. 自由記述でみられた特徴	7
6. おわりに	9
2027 年度以降の予定.....	9
(参考) 設問別回答構成	10

はじめに

本学では、自己点検・評価の一環として、「授業評価アンケート」を実施しています。このアンケートは、学生が授業への取り組みを振り返り、到達目標の達成度を自己評価することで、学修に関する課題を明確にし、学生の主体的な学修への意識を高めることを目的としています。さらに、学生の視点から教員の授業への取り組み方を可視化し、その結果を学生の自己評価と合わせて、継続的に授業改善に活かすこと、それらを踏まえてカリキュラムの組織的検証にも活用することを目指しています。

授業アンケートの実施に際し、IR 委員会では質問項目や実施時期等の検討を行っており、先生方や回答する学生に対してアンケート趣旨の徹底にも努めております。本学における授業アンケートはオンラインで実施されているにも関わらず、履修者総数 4,727 名に対し、総回答数は 3,133 件、回答率は 66.3%と高い回答率を維持しています。また、全授業科目(実習・実習指導科目を除く)に対して回答があった科目の割合＝回答科目率も 100%と全科目で回答がありました。

また、自由記述への回答数は 352 件と、昨年度の回答件数から増加しています。各部局および教員が、これらのデータを活用し、さらなる教育改善に結びつけることを期待しています。

なお、集計結果については本報告書にまとめ、本学ホームページに公表いたします。また、授業評価アンケートの集計結果・回答内容は、アンケート実施の趣旨・目的以外に使用してはならず、業務上の関連部署には守秘義務が課されます。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

武蔵野学院大学・武蔵野短期大学 IR 委員会委員長
白川 博一

2026 年度前期授業評価アンケート 結果概要

【回答率の推移】

- ・ 大学：57.7%（前年同時期より 10%程度上昇）
- ・ 短期大学：80.6%（前年同時期より 10%程度低下）
- ・ 大学院：100%（上昇傾向）
- ・ 全体：66.2%（前年同時期と同程度）

【項目別の特徴】

- ・ 全体平均：4.45 ポイント（前年後期比+0.06）
- ・ 高評価項目：授業時間の遵守（4.75）
- ・ 低評価項目：予習復習時間（1.65）
- ・ 標準偏差が大きい項目（1.0 以上）：「教材の有益性（Q7）、予習復習時間（Q12）
→科目特性（語学／講義／実技）による評価の差が大きい

【自由記述の傾向】

- ・ 良かった点：大学＝「教員の対応」など
短期大学＝「実践・体験に関すること」、「グループワークでの関わり」など
- ・ 改善要望：大学＝「学習環境」「授業の構成」、「教員の対応」など
短期大学＝「授業の進行」「評価基準」「授業の構成」など

【結果を受けて】

- ・ 学年による差は小さい一方、科目特性による違いが大きい可能性。
- ・ 教材や予習復習の項目では、回答のばらつきがみられた。
- ・ 全体回答率に対して、自由記述の回答数(授業の良い点・改善点の双方)の低下がみられた。
書き方や見本の提示などを検討する余地がある。
- ・ 教員自己点検・自己評価の回答、その後の授業改善の工夫などを受講生に共有し、循環的にアンケートを活用することを検討する。
- ・ 今後は、各授業の工夫や改善事例を FD 活動・授業設計に還元し、学生間の差を縮める取り組みが求められる。

1. 2026 年度後前期 授業評価アンケート実施概要

- 1) 実施期間：全 9 回授業：2026 年 5 月 18 日（月）8:30～2026 年 7 月 24 日（金）19:00
全 15 回授業：2026 年 7 月 6 日（月）8:30～2026 年 7 月 24 日（金）19:00
- 2) 実施科目：2026 年度前期 開講科目（クラス別講義を含む。実習関連科目は除く）。
大学 128 科目（うち 9 回授業 1 科目）、大学院 13 科目、短期大学 49 科目（うち 9 回授業 24 科目）計 191 科目。
- 3) 実施方法：原則として、実施期間の該当科目授業時間に実施した。スマートフォン等から Web システム「Musashino Academic Station（以下；MAS）」を利用して回答。
- 4) 質問項目：選択式（5 件法）の設問 14 問および自由記述式の設問 2 問 計 16 問（表 1）。
- 5) 結果の提供：学生、教員ともに MAS から参照可能。

2. 回答者の内訳

今期の開講科目中、実習および実習指導に関する科目を除いた 191 科目で回答が実施された。該当科目の受講者総数（延べ人数）は 4,727 人（大学 3,039 人、大学院 15 人、短期大学 1,673 人）であった。回答者の総数（延べ人数）は 3,133 人（大学 1,754 人、大学院 15 人、短期大学 1,364 人）であった。

3. 授業評価アンケート 回答率に関する結果

【全体回答率】

今期の授業評価アンケートの回答率について、大学 57.7%、大学院 100.0%、短期大学 81.5%、全体では 66.2%となった（数値は小数第 2 位を四捨五入）。昨年度前期との回答率の比較では、大学は回答率 9.0%増、大学院は増減なし、短期大学は 12.0%減、全体では 2.3%減となった。なお回答率は、各科目の算出結果(回答率)を単純に平均している。

回答率の推移について、現在の形式で開始した 2023 年度前期からの比較を図示した。大学は 50%前後で推移していたが、上昇している。大学院は対象者が限定的であるものの、継続的に上昇し、直近では 100%に到達している。短期大学は 80%～90%程度の回答率を維持している。回答率については、必修科目の割合や授業での周知の機会の有無などが影響していることが考えられる。（図 1）

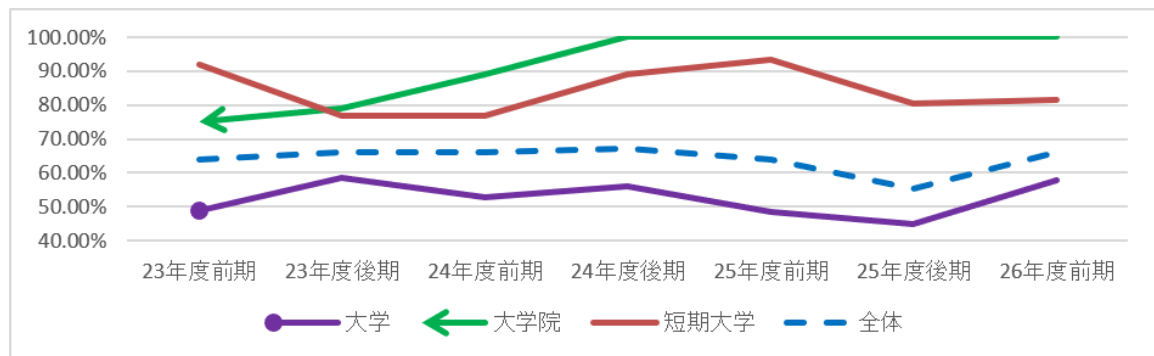


図 1. 回答率の推移(2023 年度以降のもの)

【その他回答率】

- ・学年別回答率：(大学) 1 年 73.6%、2 年 70.1%、3 年 45.9%、4 年 29.0%
(短期大学) 1 年 78.6%、2 年 86.3%
※大学院は分類が困難なため割愛

4. 項目別評価

授業評価アンケートでは文言の調整を行い、選択式 14 問、自由記述 2 問の計 16 問の構成で回答を依頼した。表 1 に選択式の設問内容および結果を示した。（以下、数値は全て小数第 3 位を四捨五入）

1) 全体の平均・傾向

2026 年度前期の全回答平均は 4.45 ポイントで、2025 年度後期の平均（4.39）より 0.06 ポイント増加した。

表 1. 授業評価アンケート 選択式設問および各年度の平均値

(選択肢:「5:そう思う」「4:大体そう思う」「3:どちらでもない」「2:あまりそう思わない」「1:そう思わない」、
 例外の設問は枠内に記載) ※ () 内は標準偏差

設問	内 容	大学	大学院	短大	総計
1	この授業に対してのあなたの出席状況は現時点でどの程度でしたか。 (5:90%以上、4:70~89%、3:50~69%、2:30~49%、1:30%未満)	4.51 (0.73)	5.00 (0.00)	4.76 (0.50)	4.62 (0.65)
2	教員は授業の目標を十分に学生に説明していましたか。	4.65 (0.71)	5.00 (0.00)	4.78 (0.48)	4.71 (0.62)
3	授業内容は『シラバス』の内容に沿ったものでしたか。	4.69 (0.64)	5.00 (0.00)	4.79 (0.48)	4.73 (0.58)
4	授業の中で成績評価の方法は明示されていましたか。	4.68 (0.66)	5.00 (0.00)	4.80 (0.46)	4.73 (0.58)
5	教員は授業の開始・終了の時間を守って授業を進めていましたか。	4.73 (0.64)	5.00 (0.00)	4.78 (0.49)	4.75 (0.57)
6	教員は効率的に教材(板書、スライド、動画、演習用教材など)を使用していましたか。	4.70 (0.70)	5.00 (0.00)	4.76 (0.56)	4.72 (0.64)
7	教科書・参考書・配付資料などは有益でしたか。 (0:使用していない、を含めた6件法で評価)	4.47 (1.10)	5.00 (0.00)	4.66 (0.79)	4.55 (0.98)
8	教員の声の大きさや口調は分かりやすかったですか。	4.65 (0.78)	4.93 (0.25)	4.74 (0.60)	4.69 (0.70)
9	教員は学生の質問や相談に対応していましたか。	4.64 (0.71)	5.00 (0.00)	4.74 (0.58)	4.69 (0.66)
10	教員は学生の理解力や反応に配慮して授業をしていましたか。 (例:難しい語句の説明など)	4.60 (0.80)	5.00 (0.00)	4.73 (0.79)	4.65 (0.72)
11	あなたはこの授業に積極的に取り組んでいましたか。	4.51 (0.78)	5.00 (0.00)	4.65 (0.65)	4.60 (0.71)
12	この授業について1週間あたり平均してどの程度予習・復習などの時間外学習をしましたか。(予習・復習の内容は、各科目のシラバスに記載があります) (5:4時間以上、4:3時間以上4時間未満、3:2時間以上3時間未満、 2:1時間以上2時間未満、1:0分以上1時間未満)	1.81 (1.20)	3.33 (1.25)	1.43 (0.83)	1.65 (1.08)
13	あなたはこの授業の内容に満足しましたか。	4.52 (0.85)	4.93 (0.25)	4.70 (0.60)	4.60 (0.75)
14	これまでに授業を振り返って、内容は理解できましたか。	4.47 (0.85)	4.80 (0.40)	4.60 (0.65)	4.53 (0.77)
-	全体平均	4.40 (0.79)	4.86 (0.15)	4.49 (0.59)	4.45 (0.72)

2) 今回の結果の特徴

今回の結果では、前期と同様に設問によって標準偏差が大きく、回答が分かれる傾向が見られた。標準偏差とは回答のばらつきを示す指標であり、0に近いほど回答が揃っていることを意味し、数値が大きいほど学生の評価が分かれていることを示す。5件法のアンケートでは、一般的

に多くの設問で標準偏差は 0.5～0.8 程度に収まりやすい一方、1.0 を超える場合は学生間で評価が割れていると考えられ、科目特性や学生層の違いが影響していると考えられる。

特に設問 7「教材の有益性」、設問 12「予習復習時間」では標準偏差が 1 を超えており、授業や学生の取り組みによって満足度や学習時間の差が現れていると考えられる。これらの設問について、学年別に大きな傾向の違いは確認されなかった。一方で、授業別に確認したところ、大学では設問 7 について、語学科目とそれ以外の講義系科目で評価のばらつきが見られた。短期大学では、特に予習復習の時間について、実技系科目とそれ以外の科目で評価のばらつきが見られた。（図 2、3）

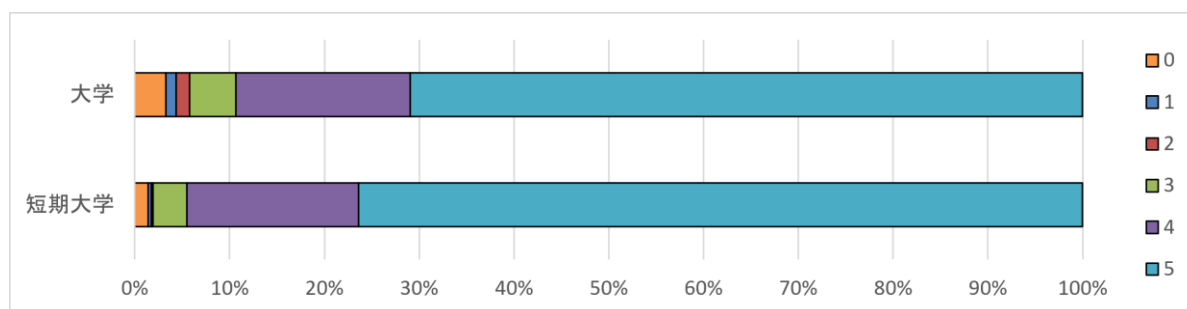


図 2. 設問 7 の回答構成 (大学・短期大学のみ)

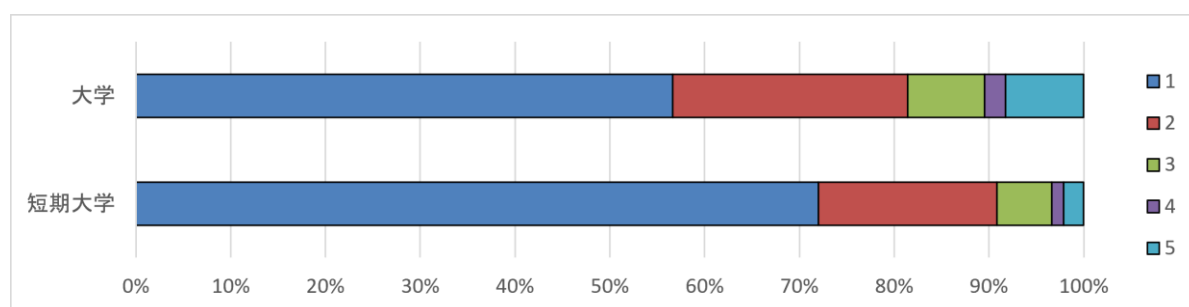


図 3. 設問 12 の回答構成 (大学・短期大学のみ)

※その他の設問の回答構成は、MAS で配信した資料を適宜ご参照ください。

5. 自由記述でみられた特徴

自由記述については、「授業の良かった点」、「改善を希望する点」に関する 2 問を設置した。

5-1. 設問 15：この授業について、特に良かった点がありましたら、記入してください。

（例：授業中のグループワークが勉強になった、私語への対応が行われていた、など。）について

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答(14 件)を除くと、合計で 266 件の回答があった。例えば大学では、「教員の対応」に関するコメントが多く見られ、短期大学では「実践・体験に関すること」、「グループワーク」などに関するコメントが多い点の特徴として挙げられた。以下、機関ごとの結果を示す。なお、大学院は回答人数が限定されるため、大学に含めた。

【大学・大学院】

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答（13 件）を除くと、163 件の回答があった。

表 2 では、具体的な取り組みを含む回答を抜粋して分類した。なお、意味を損ねない程度に一部のコメントは文言を編集している。大学では、「教員の対応」に関するコメントが多く見られた。

【短期大学】

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答（1 件）を除くと、103 件の回答があった。表 3 では、具体的な取り組みを含む回答を抜粋した。なお大学と同様に、意味を損ねない程度に一部のコメントは文言を編集している。

短期大学の授業の「良かった点」について、主に「実践・体験に関すること」、「グループワークでの関わり」に関するコメントが多く見られた。

5-2. 設問 16「この授業に改善してほしい（ほしかった）と感じる点がありましたら、記入してください」（例：授業が進むのが速かった（遅かった）、スライドの文字が小さかった、など）について

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答（76 件）を除くと、合計で 86 件の回答があった。大学では、「学習環境（スライドの表示）」や「授業の構成（時間配分など）」、「教員の対応」に関するコメントが多く見られ、短期大学では「授業の進行・評価」、「授業の構成（出席管理、資料など）」に関するコメントが多い点が特徴として挙げられた。なお大学院は 0 件だった。以下、機関ごとの結果を示す。

【大学】

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答（68 件）を除くと、72 件の回答があった。

表 4 では、要望を含む回答を抜粋して分類した。なお、意味を損ねない程度に一部文言を編集している。要望が多かった主な項目として「学習環境（スライドの表示）」や「授業の構成（時間配分など）」、「教員の対応」などが挙げられた。

【短期大学】

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答（8 件）を除くと、14 件の回答があった。回答数が少ないため、短大では回答件数を踏まえてワードクラウドによる可視化図は用いず、代表的コメントにより結果を提示した。

表 5 では、要望を含む回答を抜粋して分類した。なお、意味を損ねない程度に一部文言を編集している。要望が多かった主な項目として「学習環境（スライドの表示）」、「授業の進行」、「授業の構成（資料など）」などが挙げられた。

5-3. 設問 17 授業評価アンケート結果を踏まえた教員の振り返り

授業評価アンケート結果を踏まえた教員自己点検について、MAS 上で回答する形式で実施した。得られた回答について、適宜参考になる意見を収集し、授業改善や授業見学などの参考にさせていただくことを目的とし、別表に一覧として掲載した。主に授業内容全般の見直し、グループワークの進め方、進度の調整、資料の工夫や配信、私語など学生への対応、予習復習などについての現状や今後の検討事項について回答された。昨年度の結果を踏まえ、具体的に工夫したことについて言及されている回答も増加した。また、学生の要望に応えられない場合はその理由についての説明がなされるなど、振り返りと見直しに繋がる回答がみられた。各授業担当者の回答については、後日受講学生を対象に公開する予定である。

※各教員の振り返りについては、各科目の受講学生および授業担当者を対象に配信しました。そのため、本報告書では詳細を割愛しています。

6. おわりに

特に自由記述の結果については課題が残る結果となった。より幅広い学生の声を収集するために、アンケート実施時に「授業改善に役立てるための設問である」と位置づけを明確に示すことを継続し、具体的な観点を例示するなど、回答しやすくする工夫が求められる。自由記述の趣旨や書き方を説明することで、学生の記述がより多様で具体的なものになることが期待される。

2023 年度から本報告書の形式にて結果を共有してきた。今後は、これまでの内容を取り入れつつ、より詳細な解析を行ったり、教員の授業における具体的な取り組みや実践例を収集・共有したりすることで、学生の学びや授業改善にさらに結びつけていくことが検討できる。

2027 年度以降の予定

・2027 年度前期授業評価アンケート：今期と同様、全 9 回授業と全 15 回授業の終了時期に応じて実施予定。

・授業評価アンケート～教員の振り返り（具体的な改善・工夫などを含む）～授業改善の効果についての点検（PDCA サイクルとして運用）。

・分析すべき項目や実施科目などを検討し、構成の見直し。

（例：学生の出席回数と理解度や満足度の相関、授業への期待度と授業で何を得たか）

・実施科目の見直し。

ご意見・お問い合わせ先

武蔵野学院大学・武蔵野短期大学 ディスクロージャー

（連絡先省略）

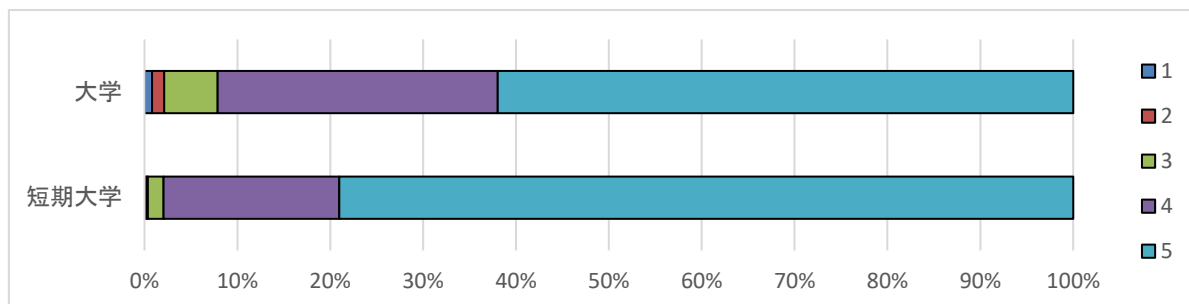
（参考）設問別回答構成

（選択肢：「1:そう思わない」「2:あまりそう思わない」「3:どちらでもない」「4:大体そう思う」「5:そう思う」、例外の設問は別途記載）

※受講人数の都合から、大学・短期大学の結果のみ掲載しています。

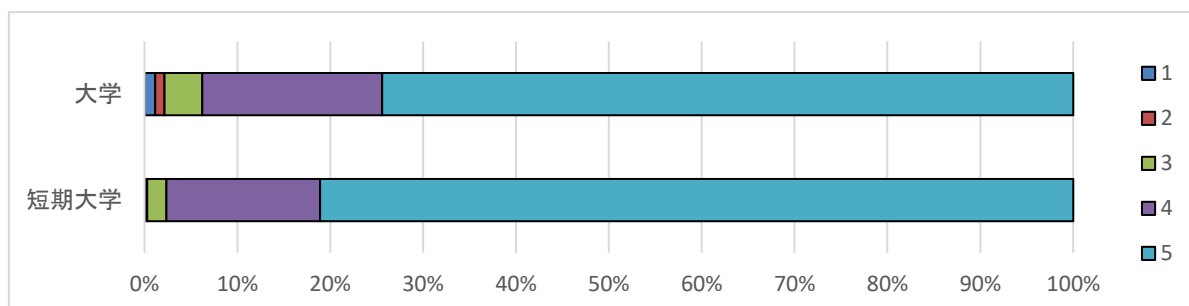
設問 1. この授業についてあなたの出席状況は現時点でどの程度でしたか。

（選択肢：5：90%以上、4：70～89%、3：50～69%、2：30～49%、1：30%未満）



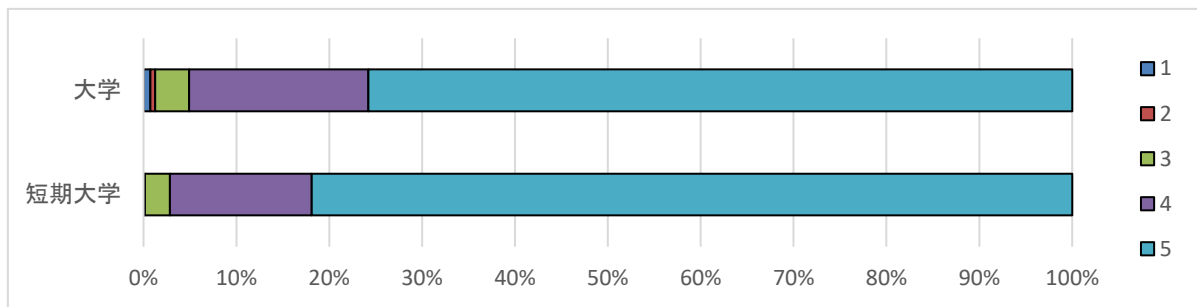
	1	2	3	4	5	総計
大学	14	23	101	529	1078	1754
短期大学	3	2	23	258	1078	1364
総計	17	25	124	787	2165	3118

設問 2. 教員は授業の目標を十分に学生に説明していましたか。



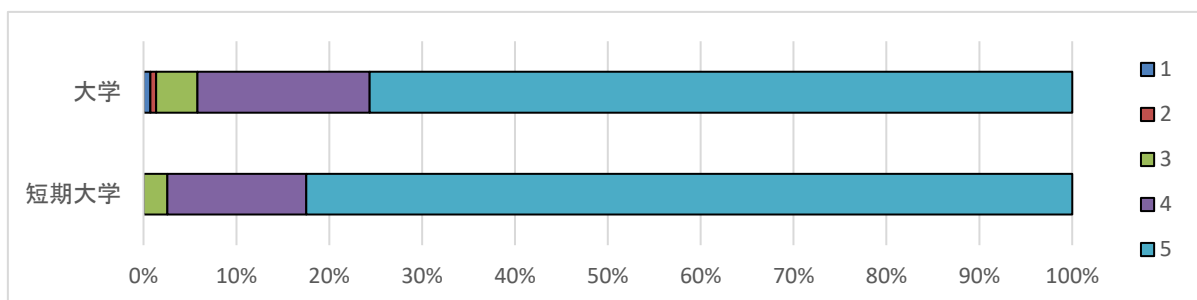
	1	2	3	4	5	総計
大学	20	18	71	340	1305	1754
短期大学	1	3	28	226	1106	1364
総計	21	21	99	566	2411	3118

設問 3. 授業内容は『シラバス』の内容に沿ったものでしたか。



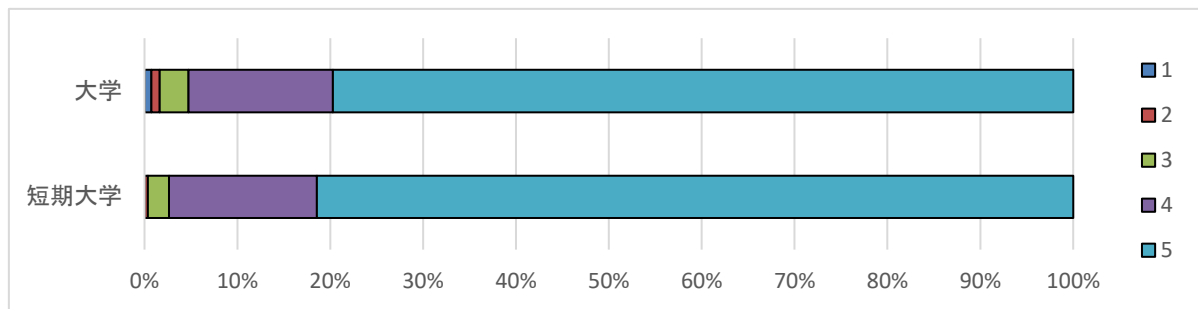
	1	2	3	4	5	総計
大学	13	9	64	339	1329	1754
短期大学	0	2	37	208	1117	1364
総計	13	11	101	547	2446	3118

設問 4. 授業の中で成績評価の方法は明示されていましたか。



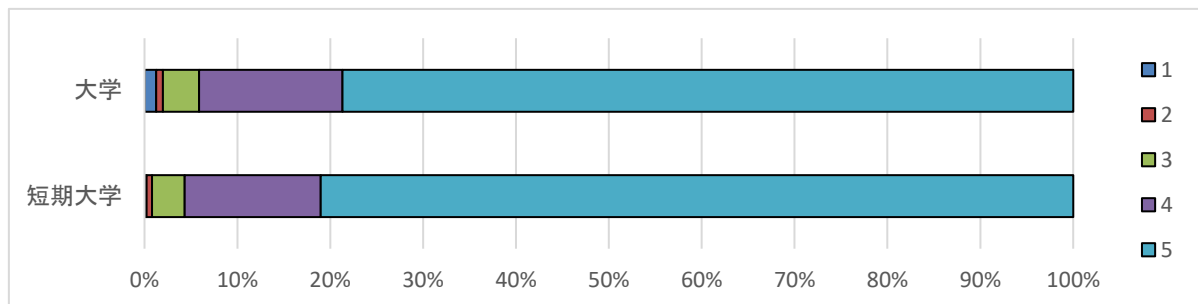
	1	2	3	4	5	総計
大学	13	11	78	325	1327	1754
短期大学	0	0	35	204	1125	1364
総計	13	11	113	529	2452	3118

設問 5. 教員は授業の開始・終了の時間を守って授業を進めていましたか。



	1	2	3	4	5	総計
大学	13	16	54	273	1398	1754
短期大学	0	5	31	217	1111	1364
総計	13	21	85	490	2509	3118

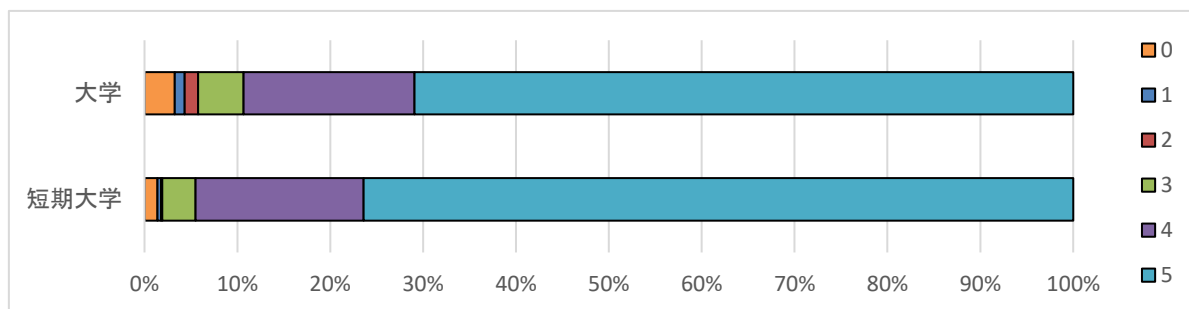
設問 6. 教員は効率的に教材（板書、スライド、動画、演習用教材など）を使用していましたか。



	1	2	3	4	5	総計
大学	22	13	68	271	1380	1754
短期大学	3	8	48	200	1105	1364
総計	25	21	116	471	2485	3118

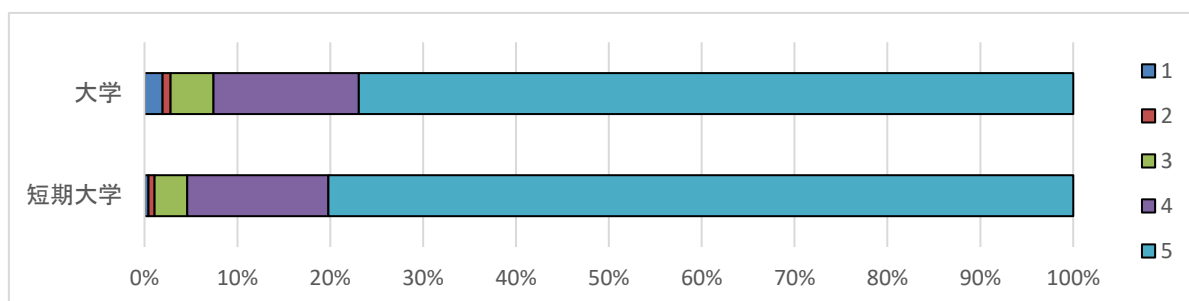
設問 7. 教科書・参考書・配付資料などは有益でしたか。

(選択肢:「0:使用していない」「1:そう思わない」「2:あまりそう思わない」「3:どちらでもない」「4:大体そう思う」「5:そう思う」)



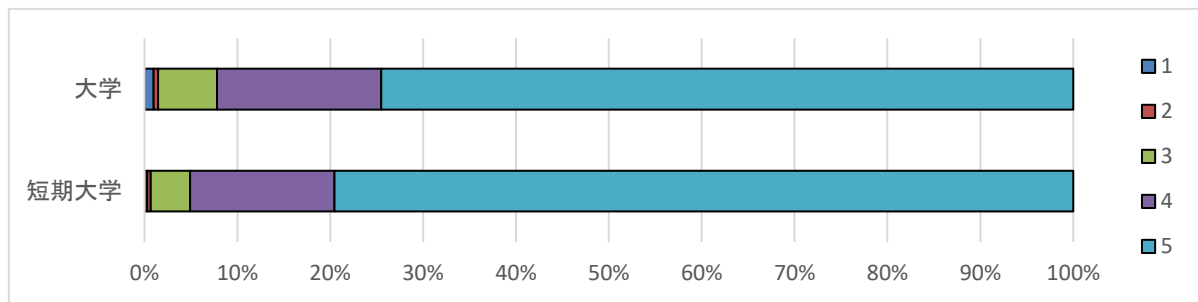
	0	1	2	3	4	5	総計
大学	57	19	25	86	323	1244	1754
短期大学	19	5	2	49	247	1042	1364
総計	76	24	27	135	570	2286	3118

設問 8. 教員の声の大きさや口調は分かりやすかったですか。



	1	2	3	4	5	総計
大学	34	15	81	275	1349	1754
短期大学	6	9	48	207	1094	1364
総計	40	24	129	482	2443	3118

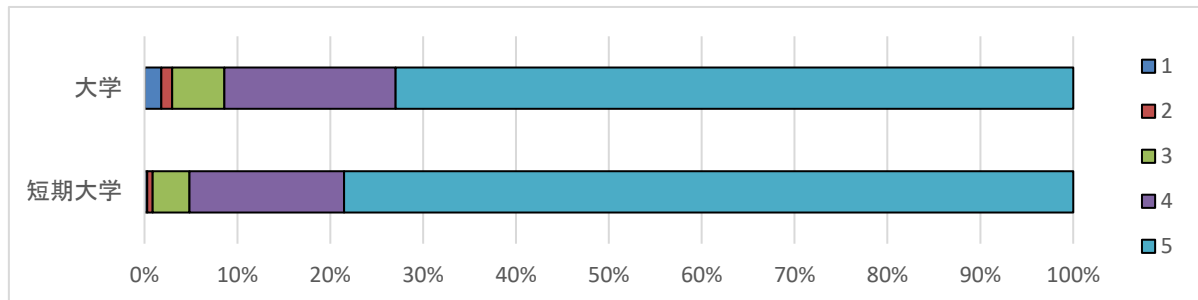
設問 9. 教員は学生の質問や相談に対応していましたか。



	1	2	3	4	5	総計
大学	17	9	111	310	1307	1754
短期大学	4	5	58	212	1085	1364
総計	21	14	169	522	2392	3118

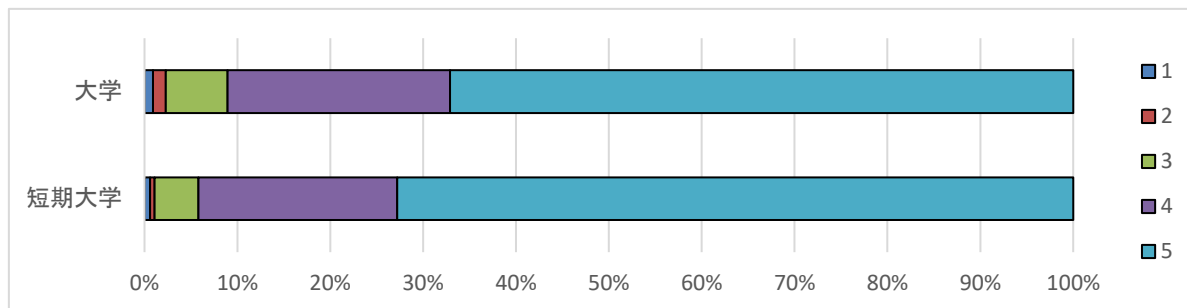
設問 10. 教員は学生の理解力や反応に配慮して授業をしていましたか。

(例：難しい語句の説明など)



	1	2	3	4	5	総計
大学	32	20	99	323	1280	1754
短期大学	4	8	54	227	1071	1364
総計	36	28	153	550	2351	3118

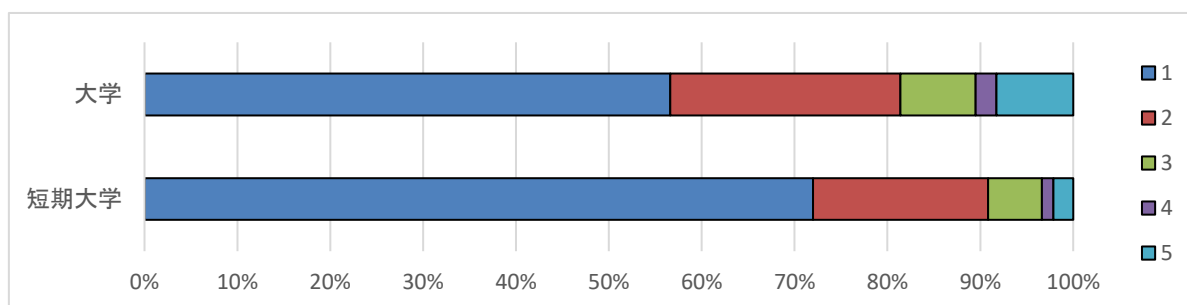
設問 11. あなたはこの授業に積極的に取り組んでいましたか。



	1	2	3	4	5	総計
大学	16	24	117	420	1177	1754
短期大学	8	7	64	292	993	1364
総計	24	31	181	712	2170	3118

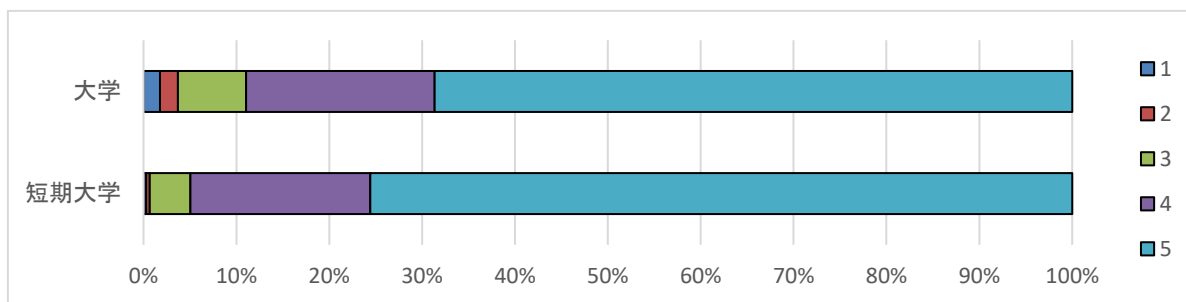
設問 12. この授業について 1 週間あたり平均してどの程度予習・復習などの時間外学習をしましたか。(予習・復習の内容は、各科目のシラバスに記載があります)

(選択肢:「1: 0 分以上 1 時間未満」「2: 1 時間以上 2 時間未満」「3: 2 時間以上 3 時間未満」「4: 3 時間以上 4 時間未満」「5: 4 時間以上」)



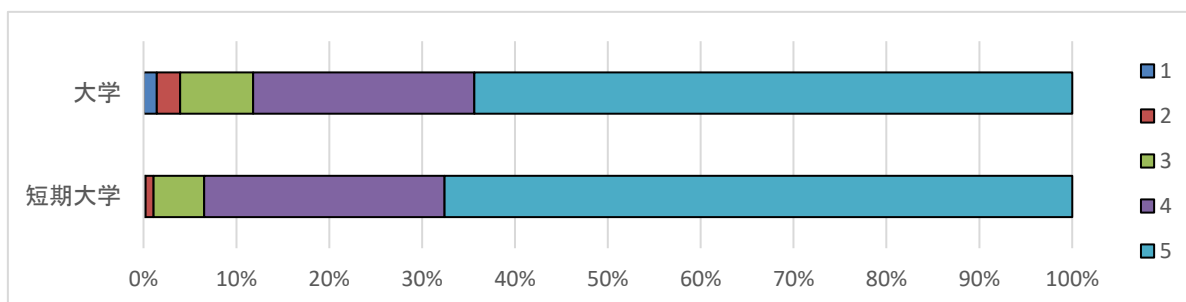
	1	2	3	4	5	総計
大学	993	435	142	39	145	1754
短期大学	982	257	79	17	29	1364
総計	1975	692	221	56	174	3118

設問 13. あなたはこの授業の内容に満足しましたか。



	1	2	3	4	5	総計
大学	31	34	129	356	1204	1754
短期大学	4	34	129	356	1204	1364
総計	35	39	189	620	2235	3118

設問 14. これまでに授業を振り返って、内容は理解できましたか。



	1	2	3	4	5	総計
大学	25	44	138	418	922	1754
短期大学	3	12	74	353	922	1364
総計	28	56	212	771	2051	3118